

金剛山寺

あり、本堂、御影堂、開山堂等の堂坊各處に散點せしが
今丈荒蕪せる寺域廣大和に跨る

赤阪、千早二城址

山麓に在り
三日市に在り、土地閑靜にして避暑に宜し近時旅舎其他の

錦溪温泉

便宜よし
觀心寺 川上村に在り眞言宗にして槍尾山を號す、管て楠氏の菩提寺

觀心寺

たりき。寺に楠朝の書軸數十卷を藏す。開山實慧上人の廟の東に
楠公首塚 あり又其奥二町許に

後村上天皇陵

あり。和泉の境なる天野山に
天野山金剛寺 あり、眞言宗にして聖武天皇御宇の創建なり、正平の

昔南朝の皇居となりて今の食堂には後村上天皇宸居し給ひき寺域廣闊古

文書多し

光瀧寺

郡の西南瀧畑に在り、寺の後に瀑あり光の瀧と呼ぶ、後山に
瀑多し四十八瀧の稱あり

關西鐵道線

(起点網島) 徳内驛、木村長門守墓へ一里廿八丁。住
道驛、瓢箪山稻荷へ一里廿丁。枚岡神社へ一里。生駒の聖天へ二里。四
條驛、四條驛神社へ九丁。野崎觀音へ十丁。津田驛、倉治の桃林元治
の瀧へ近し。長尾驛、男山八幡宮へ二里。王仁の墳墓へ六丁。(起点、湊
町) 八尾驛、信貴山毘沙門天、瓢箪山へ近し。柏原驛、河南鐵道接続す

河南鐵道線

柏原、富田林間、六哩六鎖。道明寺驛、天満宮に近し
古市驛、豊田八幡宮へ四丁。おぐる大黒へ十丁。駒ヶ谷桃林へ十丁餘
喜志驛、喜志宮へ五丁。上の太子、壺井八幡宮等近し。富田林驛、水

分の宮、千早城趾等へ行くによし

高野鐵道線

西村驛、巨勢金岡を祀れる金岡神社へ二十丁。狭山驛

狭山池へ五丁。瀧谷驛本邦三不動の一なる瀧谷不動尊へ二十五丁。長野

驛、錦溪温泉へ七丁。觀心寺へ一里、瀧畑四十八瀧へ三里。高野山へ八里

大阪名勝の部 終

近府縣名勝案内

京都府 山城の一市八郡、丹波の内五郡、丹後五郡

京都市

京都は延暦の昔より明治維新まで一千餘年間の帝都にして

山紫水明、名所舊蹟到處に散在し美術工藝盛に學業東京に次ぐ。市は上

京、下京の二區に分る。(大阪より十三里餘)

上京區

三條以北を云ふ

舊御所

御苑内の北部中央に在り。後醍醐天皇茲に即位し給ひしより

維新前までの皇居なり。御苑は舊御所の外庭にして舊公卿第宅の在りし

地にして今游園となる

仙洞御所

御苑内東部に在り、後水尾天皇の爲に幕府の造營せしめの

なり
 三條大橋 加茂川に架したる三大橋の一、欄干の擬寶珠は紫銅なり。
 七條停車場より三十一丁餘東北に在り、里程元標の所在地にして重なる
 名所への里程は大約左の如し

(東部)八坂神社	十一丁餘	東大谷圓山	十五丁
智恩院	七丁	南禪寺	十二丁
高臺寺	十一丁	靈山	十八丁
若王子	十七丁	黒谷	十九丁
永觀堂	十六丁	眞如堂	廿一丁
銀閣寺	卅丁	鹿ヶ谷	廿六丁
粟田	六丁	長樂寺	十丁
清水寺	廿二丁	西大谷	廿丁

吉田神社	卅三丁	四條橋	六丁餘
日野藥師	二里十九丁	醍醐寺	三里九丁
大津驛	二里廿五丁		

(西部)新京極 六丁

平野神社	一里廿丁	金閣寺	一里廿三丁
北野神社	一里十六丁餘	宗像神社	十五丁餘
等持院	一里十二丁	瀧安寺	一里十五丁
妙心寺	一里十八丁	仁和寺	一里廿八丁餘
天龍寺	二里十二丁餘	嵐山	二里十丁
梅ノ宮	一里卅四丁餘	梅ノ尾	三里十丁
高雄	三里	月輪寺	三里十四丁
愛宕神社	四里六丁餘	廣澤	二里十丁

二尊院	二里十八丁	松尾神社	二里十二丁餘
太 泰	一里十七丁	柳 谷	四里卅丁
長岡神社	三里廿八丁	三 鉦 寺	三里廿二丁
桂 離 宮	二里五丁	粟生光明寺	三 里
上 嵯 峨	二里十九丁餘	向 日 町	三里二丁餘
寶 寺	四里十二丁		
(商部)因幡藥師			
佛 光 寺	廿二丁	本 國 寺	廿七丁
東本願寺	十九丁	本 願 寺	廿三丁
豐國神社	廿三丁	大 佛	十四丁
建仁寺	廿二丁	帝國博物館	廿四丁
泉涌寺	十 丁	日吉神社	卅二丁
	一里餘	東福寺	卅二丁
			一里二丁

稻 荷	一里十一丁	藤ノ杜	一里廿八丁
御 香 宮	二里十五丁	城南神社	二里二丁餘
伏 見 驛	二里十八丁	木 幡	三 里
黃 檗	三里九丁	平 等 院	三里十八丁
三 室 戶	三里廿五丁	巨 椋 湖	三里廿五丁
宇 治	四里十六丁	男山八幡宮	五里卅丁
(北部)舊御所			
相 國 寺	廿二丁餘	京部府廳	卅 丁
建勳神社	廿八丁	護王神社	廿二丁
白峯神社	一里十七丁	大 德 寺	一里十八丁
下 御 靈	一里二丁餘	梨本神社	十八丁
下加茂神社	十二丁餘	今宮神社	一里九丁餘
	卅一丁餘	上加茂神社	一里廿五丁

上御靈 廿五丁餘 京都大學 卅丁餘

修學院離宮 一里廿八丁餘 貴船神社 三里廿九丁

大原野神社 三里十七丁 比叡山 三里餘

鞍馬山 三里廿三丁 大悲山 八里十三丁

木屋町 二條より三條まで鴨河に沿へる地、旅店席貸多し。高瀬川を

の前を流る。西にあたる

本能寺 は日蓮宗、信長光秀に弑されたる寺なり

革堂 其北に在り。天台宗、開基は行圓上人。北に

下御靈社 在り延曆中早良親王を祀る。北數丁御所の東に

梨木神社 在り、別格官幣附贈白大臣三條實萬卿を祀る

同志社 御所の北、新島襄氏の設立せし所、北に

相國寺 足利義滿の創建、臨濟宗五山の第二、寺域廣く境内幽雅なり

其北の

御靈社 は上の御靈と稱す、祭神下御靈社に同じ

白峯神社 今出川通に在り、官幣中社崇徳淳仁兩帝を祀る

西陣 京都の北西、堀川以西一條以北の總稱、本邦第一の織物産地なり

護王神社 烏丸通下長者町、別格官幣社和氣清麿を祀る

二條離宮 舊二條城なり、徳川家康の城く所、神泉苑其南にあり

下京區

三條より南を云ふ

先斗町 三條より四條に至る鴨河に沿へる游廓なり西二三丁の

新京極 はまた三條より四條に通ずる京都熱鬧第一の地、(東京の淺草

大阪の千日前と同じ)。同所の誓願寺は浄土宗西山派、また圓福寺境内の

蛸薬師 は蛸の薬師經に變りし靈驗を以て名高し。其南に安養寺あり

其他錦天神、及び金蓮寺在り

五條大橋 加茂川三大橋の一、欄干に紫飾擬寶珠あり。其南高瀬川兩岸に浴へる游廓は七條新地なり。橋西に御影堂あり

東本願寺 眞宗大谷派本山、七條停車場の附近、當寺は京都の一大偉觀にして其結構の壯大美觀なる洛中第一なり。枳殼殿は東殿といひその庭園は小堀遠州の意匠に出で閑雅を極む

東寺 西八條、眞言宗教王護國寺と呼ぶ、開基弘法大師、巨刹なり其五重の塔は瀬中より見ゆ。附近に六孫王社あり

島原 本邦最初の游廓とかや例年四月廿一日太夫の道中を催す

西本願寺 眞宗本願寺派本山、西六條に在り、天正年間攝津より今の地に移りしなり宏壯にして高閣殿舎の多き譽て數へ難し。滴翠園は集會所の東に在る名園あり。南に興正寺あり、眞宗興正寺派の本山なり

本願寺 本願寺の北、日蓮宗大本山、曆應四年鎌倉より移りたる巨刹なり

壬生寺 島原遊廓の北十丁許、眞言宗なり。東七八丁に空也堂あり、空也上人の開基、空也念佛世に著し

因幡薬師 松原遊鳥丸東、眞言宗、本尊薬師佛は六尺二寸の立像なり近に

佛光寺 あり、眞宗佛光寺派の本山、天正年間山科より移りて獨立せり

六角堂 六角通鳥丸東、延暦以前古刹にして池ノ坊花の祖なり

洛東 鴨河の東を洛東また鴨東とも云ふ。東南の名勝より始むべし

東山 南、稻荷山より北、上京の大文字山に至る連峯にして所謂三十

六峰の總稱とす

稻荷神社 官幣大社、倉稻魂命、素盞烏尊、大市比賣命を祀る。境内廣瀨殿宇壯麗にして諸人最も崇敬す、後山を稻荷山と呼ぶ攝末社其間に在り。北に

東福寺 在り臨宗五山の一開基聖一國師、大伽藍なりしも失火の爲に大半を亡へり、有名なる通天橋南北に架り紅葉の勝地たり。北なる泉涌寺 け禪、眞言、天臺、律四宗兼學、後山の月輪十二陵後月輪二

陵同じ、東山陵（孝明帝御陵）、同じ東北陵（英照皇太后御陵）等四條帝以後帝陵あり

三十三間堂 天臺宗、蓮華王院と號す、洛東の古刹あり。北に帝國京都博物館 在り、城内壹萬坪建坪九百餘坪、立派なる建物にして貴重なる参考品に富む。北に 豐國神社 在り、別格官幣社豐太閤を祀る。背後の峰嶺を阿彌陀峰と

いふ。豐公を葬れる所なり。北隣の大佛殿方廣寺、は天臺宗、豐公の創建。本尊大佛は雷火に焼かれ今は半像なり。巨鐘口豐臣氏滅亡の基因となりしもの。門前の耳塚は朝鮮征伐の時敵將の耳を送りたるを埋めたる紀念なり

妙法院 叡山三千坊の一なりしが移りしなり。庫裏は豐公の建立、林泉才遠州の作、什寶多し

西大谷 五條坂の上、本派本願寺の廟所なり、門前蓮池あり目録橋を架す、櫻楓に富み蓮花に名あり

清水寺、清水坂の東、法相眞言兩宗兼學、本堂は懸崖に架して南面し前に舞臺あり。音羽の瀧は本堂より石階を下りたる處に在り。西南に清閑寺あり眞言宗、幽邃の境地あり

宮川町 鴨河の東岸、四條の南より五條までの遊廓なり

建仁寺 大和大路四條南、臨濟宗五山の一、開基は榮西國師、名刹なり。門前に惠美須神社あり、蛭子命を祀り國師の勸請に係る。

八坂塔 法觀寺内の塔なりしも今は塔のみ存す。

招魂社 靈山の半腹に在り、木戸孝允卿の墓あり。

高臺寺 臨濟宗、豐公の夫人北政所の建營、境内は萩の名所なり。

東大谷 大谷派本願寺の廟所なり、佛殿及び廟所は元祿年間げんろくねんかんの建立。

北に長樂寺あり、紅葉の名所、賴山陽の墓上の山腹に在り。

安養寺 圓山に在り、也阿彌、左阿彌等の宿坊ありしも今は酒肉腥羶の場と成れり。

知恩院 洛東第一の巨刹にして淨土宗の總本山なり、鶯張の廊下、知恩院の傘及びナ梵鐘は有名なるものなり。北に

粟田青蓮院 あり、傳教大師の草創、天臺三門跡の一なり。

圓山公園 祇園林より知恩院境内の南、東大谷の邊一帶の地なり、一株の垂枝櫻は祇園の夜櫻とて有名のものなり。

八坂神社 官幣中社、祇園町の東端に在り、賽盡烏尊を祀る。例年七月の例祭は祇園會とて有名なる神事なり。西、四條大橋に至る巷は

祇園町 にして其遊廓は兩部に分れ、乙部を膳所裏と呼ぶ。有名なる都踊は明治五年に始めしものなり。四條大橋の東詰の南座及び祇園館なる劇場あり。

四條大橋 京都唯一の鐵橋なり、當市繁昌の中心たる四條通に架するを以て往來殊に賑はし、下の磯の夕涼は四條の納涼とて名高きものなり。

聖護院 聖護院町に在り、天臺宗三井寺門主の隨一あり。

疏水運河 水路幹線は大津三保崎瀨岸より鴨川東岸に至り隧道三あり日岡より南禪寺町に至る間をインクラインと稱へ山上に舟を上下する機

置あり真に大工事にして偉觀なり

南禪寺

臨濟宗、五山の一なり、龜山上皇の離宮なりしを寺とあし、

なり、境内廣潤勝地多く萩の名所なり。北に

永觀堂

あり、淨土宗西山派、境内風景四時とむによし。永觀堂の北

若王子神社

は舊天臺宗に属せり、勝地にして避暑によろし

平安神宮

岡崎町に在り、官幣大社桓武天皇を祀る。拜殿は大極殿に

摸し、ものにて丹碧煌耀真に美觀なり

如意ヶ嶽

俗に大の字山といふ火を大の字形に焼を以てなり

黒谷光明寺

淨土宗圓光大師の舊蹟、熊谷の遺跡あり

眞如堂

天臺宗、開基は戒算上人、幽寂たる靈地あり。東に方る

銀閣寺

は原と足利義政の別荘にして義政の遺命に依り寺となせり。

銀閣は二層の閣にして金閣に擬せし者、庭園の光景妙云ふ可からず

吉田神社

吉田村、神樂岡、官幣中社武甕槌、經津主兩神、天兒屋根

命を祀る。古來躑躅紅葉の名所なり、岡下に第三高等學校及び京都大學

あり。また北に百萬遍あり、慈覺大師の草創にして釋迦佛その本尊なり

叡山

東北に聳へ近江に跨る高山にして延曆寺は帝都鎮護として桓武

帝の創建し給へる名刹なり、東塔、西塔等寺院多し

修學院離宮

山端の東、後水尾帝離宮の舊蹟、林苑幽邃雅趣言べからず

北部

(下加茂より舟岡山の邊までの名勝)

加茂御祖神社

官幣大社、玉依毘賣命、大山咋神を祀る、下鴨社これ

なり。社殿は天武帝御宇の創立にして奏祭は有名なる祭禮なり

加茂別雷神社

下鴨より半里許、上鴨社といふ。官幣大社別雷神を

祀る、奠都以前の名祠にして社殿の結構下鴨社と伯仲す

貴船神社

官幣中社、鞍馬の西、水神岡象神を祀る、雨晴雨止に懸驗

ありと

大橋寺

紫野に在り、臨濟宗開基大悟國師、寺城廣潤禪林の大道場あり。

真珠庵

方丈の北に在り開祖は一休和尚にして遺物多し。紫野の西に舟岡山ありその東麓の建勳神社は織田信長を祀り別格官幣社なり

舟岡山

ありその東麓の建勳神社は織田信長を祀り別格官幣社なり

西部

(平野邊より太秦に至る名勝)

平野神社

官幣大社、日本武尊等四座を奉祀す。櫻の名所なり。西數

丁に

金閣寺

在り、禪宗鹿苑寺と稱す。足利義滿その北山殿を寺とし三重

北野神社

官幣中社、菅公を祀る、有名の大社にして朝野の崇敬殊に

篤し。當春社殿の修築成ると共に一千年祭を舉行したり

妙心寺

花園村に在り、禪宗臨濟派の本山、延元中僧關山の開基、寺

域方五丁にして堂宇壯大あり、法堂天井の龍は探幽が揮毫に係る

御室仁和寺

同村、眞言密乗の巨刹にして光孝帝御宇の創建、法親王

法務を執り給ひさ。境内櫻樹多く嵯峨御室と併稱せられたる名所なり

梅尾、高雄

及び梅尾の三山は紅葉第一の名所にして梅尾最北に在り

て寺を高山寺と號す。西四丁許に梅尾あり楓樹乏しけれと幽邃なり。そ

の西南の高雄には古刹あり神護寺といふ眞言宗にして名蹟多し。紅葉の

名所としては高雄第一なり

大覺寺

嵯峨村、眞言宗嵯峨帝の離宮なりしを寺としたり洛西の名刹

なり。西三丁許に清涼寺在り俗に嵯峨の釋迦堂と呼ぶ

岩岩神社

愛宕山上に在り、火防の神なりといふ。山腹に月輪寺あり

天龍寺 下懸巖に在り、臨濟宗五山の一、開基は夢窓國師なり、寺域

廣く方丈の庭園池あり優雅なり

嵐山 大堰川の南岸に在り、満山櫻楓兩樹に富み春秋の景筆舌に絶す

橋を渡月橋といふ。大悲閣は山の西腹に在り。上流保津川を探將せん

欲せば丹波龜岡より躰ひして下るべし。橋の南なる法輪寺の本尊は虚空

藏にして十三詣する者多し

太奏廣隆寺 聖徳太子侍臣に命じて建立せしめられたる有名古刹な

り。什寶多く美術家等の参考に資するもの多し。牛祭は有名祭典なり

西南部

(梅宮より伏見に至る名勝)

梅宮神社 梅津に在り、官幣中社祭神は木花開耶比賣等四座、婦人臨

月當社の砂を佩び安産を祈る

松尾神社 松尾村大字上山田、官幣大社大山咋神市杵島姫を祀る、洛

西第一の大社にして攝末社多く山上山下に散布す

桂離宮 桂川の西岸桂村、正親町帝皇孫の邸趾なり

粟生光明寺 粟生野に在り、淨土宗西山派の本山、開祖は熊谷入道蓮

生法師にして建久九年の草創なり。西南三十町餘に

柳谷観音 在り、淨土宗本尊は千手観音なり、眼病に罹る者の參籠

多し

長岡天満宮 向日町の南、菅公を祀る、境内風景よく池あり躑躅に名

あり

天王山 山崎の北、秀吉信長の 吊合戦せし所、半腹に寶寺あり

男山八幡宮 石清水八幡ともいふ、官幣大社、應神帝、神功皇后、玉

依姫を姫る、壯麗なる名社なり。八幡参りとして例祭には京坂より参拜す

る者多し

淀 京都を距る三十三丁、稻葉氏の舊城下なり

藤森神社 稻荷を趾る十丁許、舍人早良伊豫三親王を祀る。藤の森爾

一丁を墨染と呼ぶ墨染の櫻を以て世に著し

伏見 京都より二里半、南に淀河を帯び伏見大坂通の汽船日に數回往

來し京都間に電氣鐵道の敷設ある繁昌なる小都會なり。桃山御殿趾に桃

樹多く御香宮は西三丁に在り。豐後橋の南五十丁俗に大池と呼べる

巨椋池 是周匝四里十一丁、蓮花多く又葦菜を産す

東南部 (山科より笠置に至る名勝)

山科 伏見より大津に至る通路、近傍に毘沙門堂、山科御防、西の山

村に在る大石良雄の舊宅(今寺となる)、深草少將の宅址、小町塚等あり

醍醐寺 醍醐村に在り、眞言宗開基は理源大師、延喜四年の創立なり

宇治 茶に名ある宇治は伏見より一里廿八丁、宇治川に沿ふて旅舎料

亭の清なるあり景色よろし。宇治橋は本邦架橋の嚆矢と稱す。橋南二

丁許に

平等院 あり、源融公の山莊にして賴通寺となしたり、鳳凰堂、釣

殿等古色蒼然建築の好模範たり、後門の前ある森の

縣社 是木花開耶姬命を祀る、六月五日の例祭には京阪其他より參

詣する者實に夥し

萬福寺 黃檗派の總本山、隱元和尚の開基、明風の構造にして誠に奇

觀たり

妙勝禪寺 薪村、俗に薪大寺と稱す、禪宗開基大應國師、中興一休和

尚の墓あり田邊驛より三丁

海修山寺 おつせうじ 佛生寺村の山上に在り、眞言宗聖武帝の勅願所なり
鷲峰山金胎寺 じゆふせんこんたいじ 東和束村眞言宗開基は役小角本尊彌勒佛は行基の作也
笠置寺 かさざてら 笠置山に在り、眞言宗中興は解脱上人、本堂は後醍醐帝の行在所たりき。峰聳ぬ溪深く樹木繁茂し巖巖崔嵬奇勝多し。

京都の鐵道 きよと 大坂より上り東海道官線は山崎、向日町兩驛を歴て七條停車場に達す。市内電氣鐵道の便あり。七條より稻荷、山科兩驛を歴て大谷驛より滋賀に入る。

奈良鐵道 ならてつ (京都奈良櫻井間)は七條にて乗替へ伏見、桃山、宇治、玉水、木津等の驛を歴て奈良に至る

關西鐵道 かんせいてつ は河内の長尾驛より田邊、祝園、新木津、加茂、笠置、大河原の諸驛を歴て伊賀に入る。

京都鐵道 きよとてつ (京都園部間)七條にて乗替へ丹波口(島原遊廓に面す)、二條(二條離宮東敷丁)、花園(妙心寺、御室、高雄等へ行くに便利)、嵯峨(嵐山附近の名勝へ近し)の諸驛を歴て丹波の龜岡、八木の兩驛を過ぎ園部に達す。園部は丹波の咽喉にして木石材の産出多し。以上沿道の京都に於ける名勝は既に詳記せり

滋賀縣 近江一市十二郡

東海道鐵道 とうかいだうてつ 大谷、馬場、草津、野州、彦根、米原等の諸驛を経て美濃に入る
逢坂山 あさかやま 山城との國境、關所の在りし地、走り井水清く名所なり。馬場驛より石場驛を歴て大津驛に至る

大津町 是琵琶の湖を控へたる商業繁昌の市街にして縣廳の所在地なり。膳所は停車場の東三丁許なり。

近江八景 石山秋月、瀬田夕照、粟津晴嵐、矢橋歸帆、三井晚鐘、唐崎夜雨、堅田落雁、比良暮雪にして粟津ヶ原は大津より膳所を経て石山邊までを云ふ。義仲寺に芭蕉翁の墓あり。瀬田橋大小二橋あり瀬田の唐橋と呼ぶ。矢橋は瀬田の北一里。石山寺は石山村の山上に在り、眞言宗別格本山、觀月の名所にして本堂源氏の間は紫式部の源語を撰りし所なり。三井寺市街の西に在り天台宗寺門派本山にして湖上の眺望最もよし。唐崎湖の西岸、其老松一幹にして枝葉八方に繁茂す。堅田大津の北三里許、浮御堂湖中に斗出す。比良山大津より六里半、高山にして彌生の頃まで雲絶ぬす。

草津驛 東海中仙兩道の分る所、關西線に接續す津山田行は乗替野

州(野州)晒とて布の名所。東南一里に近江富士の名ある三上山あり。八幡(宮家多く繁昌の地)、能登川三驛を経て彦根驛に至る、(近江鐵道線行は乗替)

彦根 是井伊侯の舊城下にして湖の東北岸に方る。城は金龜城と云ひ湖山の眺望最もよし。城北に樂々園あり侯の別邸なりしが今公園となる

近江鐵道

(彦根貴生川間)高宮、豊郷、愛知川、小幡、八日市、日野、水口諸驛を経て貴生川驛に至る。此驛より關西線に連絡し山田奈良等に至るべし

多賀神社

官幣中社、諾冊の二尊を祀る、命乞の神又は壽命を司り給ふの神なりとて參拜する者多し(高宮驛より下車すべし)

永源寺

濟臨派の本山、有名なる巨剎にして山腹に在り、東麓に愛知

川流れ満山楓樹多く風景絶佳にして高雄、箕面に譲らず。(八日市驛に近し)

北陸線

(米原富山間)長濱、高月、木の本、中の郷、柳ヶ瀬諸驛を経て越前、加賀を通過し越中富山に達す

長濱町 北陸道の要路にして湖北第一の市街なり、湖上の船舶常に輻湊し商業繁昌す、濱縮細は當地の産出なり。當地より三里湖中の竹生嶋 は周廻一里樹木翁鬱として怪岩奇石屹立し眞に絶景あり。寶巖寺は島中に在り、本尊二軀辨財天及び觀世音とす。又神社あり結構壯麗なり

餘吾湖 木本驛より一里、南北十八町東西十二町風景よし。賤ヶ嶽の古戰場其西に在り

敦賀(越前) 北海の要港にして繁昌の地なり氣比神社金ヶ崎宮、耕雲齋の墓等名勝多し

福井 越前第一の都會にして松平侯の舊城下あり。藤島神社は市の西南に、曹洞宗の本山永平寺は東四里に在り

金澤(加賀) 北陸第一の都會にして前田侯の舊城下なり。兼六公園は舊城の東南に在り日本三公園の一と稱せらる尾山神社等名勝多し

富山(越中) 舊前田侯の城下にして金澤に次ぐ都會なり。賣藥製造場は市の東部に在り。大法寺梅澤町に在り

岐阜縣

美濃一市十五郡 飛彈三郡

東海道鐵道

關ヶ原、垂井、大垣、岐阜諸驛を経て尾張に入る

關ヶ原 有名なる古戰場、不破の關趾は西十五丁藤川の東岸に在り
 南宮神社 垂井の南十二町許、南宮山に在り、美濃第一の大社なり
 大垣町 戸田氏の舊城下なり、南三里の養老瀧は高九丈二尺巾二間許
 り極めて壯觀あり、山中櫻樹多く公園地たり。養老神社あり。
 岐阜市 は大垣の東九哩、金華山（一名稻葉山）の麓に在り長良川に
 臨み縣廳の所在地あり。織田氏の城趾は金華山に山麓に稻葉神社在りて
 壯麗なり
 長良川 市の北端を流る、其鵜飼は五月より十月まで行はれ眞に奇觀
 なり

愛知縣 尾張一市九郡
 三河十郡

東海道鐵道

木曾川、一ノ宮、清洲諸驛を経て名古屋驛に達し熱

田、大府、豊橋等諸驛を通過し靜岡縣に入る
 眞清田神社 一ノ宮に在り、國幣小社尾張五大社の一、一の宮是なり
 名古屋市 東西兩京の中間に在り東海道第一の要市にして百貨輻湊商
 業繁昌す。名古屋城は徳川氏の築く所天守閣に金銃を置く今離宮たり
 東本願寺別院 東掛所と呼ぶ、大伽藍にして周圍城廓の如し
 大須觀音 眞言宗の寺なり、大須門前と呼ぶ所は大坂千日前の如き賑
 ふ場所なり。旭廓はその西に在る遊廓にして花園町最も繁華なり
 熱田町 名古屋市の東一里、南に港灣を擁し桑名、四日市等の諸港へ
 往復する漁船あり、魚市場此地の壯觀たり。
 熱田神宮 神跡本草薙劍、社地宏大神威森嚴伊勢大廟に亞ぐ大社也
 桶狭間古戰場 鳴海（大高驛より十町）より一里廿丁ばかりなり
 鐵道線路 東海道線の外に新一ノ宮彌富間（尾西鐵道）、大府武豐間

名古屋多治見間及び吉田（豊橋）大海間（豊川鐵道）あり其沿道名勝は略す。名古屋驛にて官線に聯絡したる關西鐵道線を下りて三重縣に入り大廟を參拜するの案内すべし

三重縣 伊勢二市十郡、伊賀二郡 志摩一郡、紀伊ノ内二郡

關西線は名古屋を發して愛知、彌富等諸驛を経て桑名驛に達す

桑名町 木曾河口に在る良港なり。城趾は市の東北に在り。約八哩を

下れば

四日市 驛に至る、四日市港は本邦屈指の佳港にして市街繁昌す。八

哩餘

龜山 驛に至る、線路分岐て一は津を経て山田驛に達し、他は官線草

津驛に至る。龜山津間は關鐵、津山田間は參宮鐵道。龜山より下庄、一

身田兩驛を経て津驛に達す

津市 舊藤堂侯の城下、繁華の地なり。城趾は市の南に在り。公園は

市の北に在りて風景よろし。阿漕等諸驛を経て松阪驛に至る

松坂町 是豪家多く繁昌の地、西莊橋てふ大橋より二町許に三井氏の

厩宅あり。本居宣長翁の舊居は魚町に在り。宮川驛等諸驛を通過して

山田に着す

山田町 宗廟の在す所とて參宮道者の群來る春は固より常に參宮客の

絶間なく市街殷賑商業繁昌す。山田町は宮川の東にて、尾坂部より西

を宇治といひ東は山田町なり。古市は有名なる遊廓あり。伊勢土産の買

物は山田細工、宮本箸、傘、紙糞入等なり

豊受大神宮 外宮にして本殿には豊受大神を祀り瓊々杵尊、天兒屋根

命、天太玉命を配祀す。雄略帝二十二年の創建なり。多賀宮、土宮、月讀宮、風宮之を四所の宮と稱す。神庫、遙拜所、第四、第三等の諸門、寶殿、御饗殿等あり。二十一年毎に遷宮式を行ふ。古市、館町、宇治街等を過ぎ五十鈴川に架せる宇治橋を渡り、神域に入る。皇大神宮、内宮と稱す、大日靈貴天照大神、天手力雄神、萬豐秋津師姫を祀る。垂仁帝二十五年の創建にして御神躰は八咫御鏡なり、別宮に荒祭宮、白讀宮、伊佐奈岐宮、伊佐奈彌宮等あり、攝社二十五座、未社十六座其他の建物略外宮に同じ。神聖無二の靈域たること絮説を俟す。東南の丘陵を神路山といふ。朝熊山、宇治山田町より東二里、駿の富士を望み風光絶佳、山頂に金剛証寺、山麓に朝熊神社及び鐘宮あり。二見の浦、山田を去ること二里、音無山を負ふて伊勢灣に臨む。海岸

を隔つる數間に有名なる二ツ岩在り其色蒼黒にして木理をなす注連を結へること畫に見るが如し眞に好景なり

鐵路に由りて龜山に歸り奈良に赴むかひとす。關西鐵道は龜山より關(關の地藏は新所村に、筆捨山は西北一里許に在り)、加太、柘植(京都近江行は草津行に乘替)、佐那貝諸驛を経て上野驛に達す(上野町へ凡一里、月ヶ瀬へ凡四里、赤目四十八瀧へ凡五里なり)

月ヶ瀬、梅林の名所にして大和、伊賀兩國に跨り名張川西北に流れ南方は廣瀬、遅瀬、嵩、月瀬等相連り北方は治田、白檜、尾山等相續き山谷の間梅樹數を知らず、尾山、長引、月瀬、桃香野就中奇勝なり

上野驛より島ヶ原、笠置諸驛を経て加茂驛より分岐し大佛を経て奈良に着す

奈良縣 大和

奈良 古への平城京にして元明帝以降七代八十餘年の帝都にして山水秀麗名勝の夥しきこと京都に亞ぐ、縣廳の所在地にして當國第一の大市なり

猿澤池 停車場より大通を東數丁の右に在る半月池なり。南園堂その

北に、僧玄昉の建立なる十三鐘その東に在り

興福寺 南都七大寺の一にして規模宏大なりしが今は樓門、金堂の礎

石、五重塔、南園堂、北園堂の存するのみ。春日大鳥居の東北に

帝國博物館 あり、洋風の構造にして参考とすべき珍品多し。此邊雪

消澤、春日野等公園の内なり。春日山(三笠山のこと)の西麓の

春日神社 は神護景雲二年の創建、正殿四宇武甕槌命、經津主命、天

兒屋根命、姫大神を祀る、官幣大社なり。樓門、廻廊、瑞籬等善美を盡

し燈籠數へ難し。若宮其南に在り。春日山の北なる三重の芝山は若草山

なり。社地は老杉森々として神鹿徘徊し言べからざる風趣あり。社の西

北に手向山八幡宮あり

二月堂 手向山の北、天平勝寶四年の建立、俗に水取と呼ぶ法會名高

し。西に

大佛殿 あり東大寺の本尊にして座像高五丈三尺五寸、南に南大門西

に戒壇院あり天平時代の建築に係る。北に正倉院あり帝室御物を藏す

般若寺 東大寺西門の北、孝德帝時代の創建也北の坂を奈良坂といふ

停車場に歸り淺町行の關西鐵道に由り奈良驛より郡山、法隆寺、王子

を歴て大阪府に入る沿道名勝次の如し

郡山町 奈良市へ二里十二町、柳澤氏の舊藩地にして市街繁華あり

金剛山寺 矢田村、矢田寺と呼ぶ郡山驛より三十町、天武帝の勅建なり

西松尾寺

矢田村附近、厄除親音と稱し參詣者多し

百二十

藥師寺

驛より十五六町、本尊藥師如來は無双の妙作なりと三町餘に在り、聖武帝の勅願所、天平勝寶八年の創建なる名刹なり

唐招提寺

西大寺、驛の北一里二十町餘、天平神護元年孝謙帝の勅建あり。此他

神功皇后御陵

は平城村に、菅公誕生の地なる菅原神社は菅原村に在り

法隆寺

法隆寺驛より十町餘、最も有名なる巨刹にして推古帝の第五

五年聖德太子の開基

なり寺域廣潤堂宇壯麗にして一千三百餘年來の建築

器什悉く存在し金堂、講堂、東院、夢殿、五重塔等觀るべし。考古家美

術家に資する蓋し趣あからずとふべし。

王寺驛

櫻井行の乗替驛なり、當驛附近の名勝は、八町餘の

片岡山達摩寺

は聖德太子達摩塚を立てし舊蹟を寺になしたるなり

信貴山

二十八町、中腹に觀喜院朝護國孫子寺あり毘沙門天を祀る

龍田神社

北十六七町、官幣大社天御柱國御柱二神を祀る、境内松

柏鬱蒼幽邃の地なり。近傍の龍田川は古來紅葉の勝地にして有名なり

櫻井行に乘替へ王寺を發し下田、高田、畝傍諸驛を経て櫻井に達す

下田驛の南二十五町に

當麻寺

あり、用母帝の皇子厩古親王の建立、中將姫の事蹟を以て著

るし逆の曼陀羅は當寺唯一の寶物なり

高田驛

南和鐵道の起点なり。高田町は名邑なり。畝傍驛の南に

畝傍山

在り、その東北陵は神武帝御陵にして懿德、安寧兩帝陵も

附近に在り。山麓は神武帝皇居を奠め賜ひし地にして明治廿二年此地に

榎原神宮

を建つ官幣大社神殿壯嚴社域清淨なり、近傍の

久米寺

は久米の仙人が事蹟を以て著し、來目皇子の祈願に據て建立

す

壺坂寺 南法華寺といふ、壺坂山に在り奥の院の巨殿に佛像を刻めり
多武峯 櫻井驛南五十町餘、談山神社山腹に在り、別格官幣社藤原鎌
足公を祀る。社殿壯麗境域幽邃櫻の名所なり

櫻井驛より奈良鐵道線を上れば三輪、柳本、丹波市、樺ノ本、帶解、
京終諸驛を経て奈良に着す

長谷寺 三輪驛の東、初瀬町の北端泊瀬山に在り、眞言宗本尊は十一
面觀世音、古來櫻の名所にして近來牡丹を以て聞ゆ名刹なり

大神神社 三輪山の西面に在り、官幣大社大物主神を祀る當社は本殿
なく三輪山を神躰とすと

大和神社 柳本の北、垂仁帝第二十五年の創建官幣大社名祠なり
丹波市驛 より五町許、天理教會本部あり。東に

石上神社 あり、官幣大社、三輪龍田諸社と共に二千年來の古社なり

帶解地藏 帶解驛附近、春日作の地藏にして文德帝の後懷妊し給ひ

安産御所 ありて効驗ありき

南和鐵道 高田驛より新庄、御所、掖上、葛、北宇智諸驛を経て五

條に達す。沿道に記す程の名所あり、葛驛より東南二里餘に
吉野山 あり、金峰山より吉野川の岸に至る總稱にして滿山皆櫻樹に

して其名海内に遍く特に南朝三世五十餘年間の行在所なりしを以て古跡
極めて多し。吉野川は源を大臺原山より發し紀ノ川となる。一目千本は

長峰より一望する櫻を云ふ。

金峰山寺 藏王堂といふ、吉野町の南に在り。二三町許の
金輪寺 は南朝三代の行在所なりき。吉水院又後醍醐帝行在し給ひき

如意輪寺 は小楠公の歌を残し、所にして後に後醍醐帝陵あり。此他
西行の舊跡なる若清水、奥の院、蜻蛉瀧等名勝多し

五條町 奈良市へ十一里廿九町、名邑あり

紀和鐵道 五條驛より和歌山縣の諸驛を経て和歌山に至る

和歌山縣 紀伊ノ内一市七郡

紀和鐵道は隅田、橋本、妙寺、粉河、打田、田井ノ浦等諸驛を経て和歌山に着す

高野山金剛峰寺

橋本より凡三里、山は杉樹の樹森々と生茂りたる深山にして空海上人入寂の靈地たり。寺は弘仁七年空海嵯峨帝の勅允を蒙り開基創建せしもの寺域六十七萬五千坪、寺院七百二十三宇支院四百四十字近國無双の名刹たること普く世の知る所なり

粉河寺 粉河驛の北、天臺宗本尊は千手千眼觀世音にして西國巡禮第一番の靈場なり寶龜年間の創建に係る

根來寺 打田驛の西北一里半許、眞言新義派の總本山にして高野山に次ぐ巨刹あり櫻多し

和歌山市 大阪より十七里、紀伊川の南岸に在り南海道第一の都會なり。和歌山城は市の中央虎伏山に在り天守閣翠松の間に聳ゆ。岡公園は岡山町に在り、眺望頗る佳なる勝地なり。鷺の森堂前町に鷺の森御坊境内廣く堂宇壯麗市内第一なり。御坊北町の西に朝棕神社あり大巳貴命を祀る。其他名勝多し。北口停車場より一里十丁根上り松の奇觀あり。里程元標所在地なる京橋より一里二十丁餘南に

和歌ノ浦 絶勝あり、東西廿餘町蘆邊の田鶴、波間の千鳥の趣を添へ東に紀三井寺を望む附近名勝に富み妹背山養珠寺、三斷橋、橋の東詰に經王堂、妹背山に多寶塔等あり

和歌山縣 紀伊ノ内一市七郡

紀和鐵道は隅田、橋本、妙寺、粉河、打田、田井ノ浦等諸驛を経て和歌山に着す

高野山金剛峰寺 橋本より凡三里、山は杉樹の樹森々と生茂りたる深山にして空海上人入寂の靈地たり。寺は弘仁七年空海嵯峨帝の勅允を蒙り開基創建せしもの寺域六十七萬五千坪、寺院七百二十三宇支院四百四十字近國無双の名刹たること普く世の知る所なり

粉河寺 粉河驛の北、天臺宗本尊は千手千眼觀世音にして西國巡禮第一番の靈場なり寶龜年間の創建に係る

根來寺 打田驛の西北一里半許、眞言新義派の總本山にして高野山に次ぐ巨刹あり櫻多し

和歌山市 大阪より十七里、紀伊川の南岸に在り南海道第一の都會なり。和歌山城は市の中央虎伏山に在り天守閣翠松の間に聳ゆ。岡公園は岡山町に在り、眺望頗る佳なる勝地なり。鷺の森堂前町に鷺の森御坊境内廣く堂宇壯麗市内第一なり。御坊北町の西に朝棕神社あり大巳貴命を祀る。其他名勝多し。北口停車場より一里十丁根上り松の奇觀あり。里程元標所在地なる京橋より一里二十丁餘南に

和歌ノ浦 絶勝あり、東西廿餘町蘆邊の田鶴、波間の千鳥の趣を添へ東に紀三井寺を望む附近名勝に富み妹背山養珠寺、三斷橋、橋の東詰に經王堂、妹背山に多寶塔等あり

和歌山縣 紀伊ノ内一市七郡

紀和鐵道は隅田、橋本、妙寺、粉河、打田、田井ノ浦等諸驛を経て和歌山に着す

高野山金剛峰寺 橋本より凡三里、山は杉樹の樹森々と生茂りたる深山にして空海上人入寂の靈地たり。寺は弘仁七年空海嵯峨帝の勅允を蒙り開基創建せしもの寺域六十七萬五千坪、寺院七百二十三宇支院四百四十字近國無双の名刹たること普く世の知る所なり

粉河寺 粉河驛の北、天臺宗本尊は千手千眼觀世音にして西國巡禮第一番の靈場なり寶龜年間の創建に係る

根來寺 打田驛の西北一里半許、眞言新義派の總本山にして高野山に次ぐ巨刹あり櫻多し

和歌山市 大阪より十七里、紀伊川の南岸に在り南海道第一の都會なり。和歌山城は市の中央虎伏山に在り天守閣翠松の間に聳ゆ。岡公園は岡山町に在り、眺望頗る佳なる勝地なり。鷺の森堂前町に鷺の森御坊境内廣く堂宇壯麗市内第一なり。御坊北町の西に朝棕神社あり大巳貴命を祀る。其他名勝多し。北口停車場より一里十丁根上り松の奇觀あり。里程元標所在地なる京橋より一里二十丁餘南に

和歌ノ浦 絶勝あり、東西廿餘町蘆邊の田鶴、波間の千鳥の趣を添へ東に紀三井寺を望む附近名勝に富み妹背山養珠寺、三斷橋、橋の東詰に經王堂、妹背山に多寶塔等あり

紀三井寺 名草山腹に在り、西國第二番の札所、和歌浦全景を一時に

收め眺望極めてよし。和歌の浦の北

玉津島神社 は神功皇后、神明光浦靈を祀る。後山を眞洪山と呼ぶ、

此山より亦和歌浦を見るに宜し。西の山上の

東照宮 は家康公を祀り神殿美はしく樹木鬱蒼たり和歌祭有名なり

日前國懸兩宮 北口驛より一里、官幣大社延喜式内の名社あり。同じ

く一里に竈山神社あり五瀬命を祀る官幣中社なり

伊太邦曾神社 市より二里十七丁名草郡西山東村、當國一の宮と稱す

田邊 和歌山市へ十九里四町、西牟婁に在る安藤氏の舊城下なり

湯崎温泉 田邊より三里、温泉場七所あり。近傍圓月洞、千疊岩等奇

勝あり

新宮 和歌山市へ四十六里廿四町、東牟婁に在り熊野河畔の名邑あり

那智瀑 熊野三山の二なる那智山（東牟婁郡新宮町の西南）中に在り

三所より下る、一ノ瀑は高さ四十八丈幅十八間なり。熊野浦より望見し

得べし

南海鐵道に由り大阪に歸り更に阪鶴鐵道線路の勝を探らむ

兵庫縣 縣津ノ内一市三郡、播磨一市十三郡

阪鶴鐵道（神崎福知山間） 大阪より直通（若くば乗替）列車にて神

崎に着し、塚口、伊丹（伊丹町、大阪市へ四里餘造酒家多し、荒木村重

の城趾あり）、池田（大阪の都に見ゆ）等諸驛を経て中山驛に至る

紫雲山中山寺 古義眞言宗聖德太子の開基、西國順禮二十四番の札所

なり。山中櫻樹多く山頂眺望によろし。東北に満願寺在り草創古く名利

なり

寶塚温泉 寶塚驛より二丁、旅館は崖に倚り眺望よろし多量の鹽分を含有し痲痺患者に効驗多し。十丁餘に蓬萊山清澄寺在り

有馬温泉 生瀬驛より二里余、湯泉は湯山町(有馬山中)に在り、古來有名にして坊と呼ぶ旅宿多く繁昌す。湯本の南に鼓ヶ瀨等の名勝多し

武田尾温泉 武田尾驛より五丁、三百餘年前より涌出つと近時大に世に知らるゝに至れり旅舎あり。次の道場驛を経て三田驛に至る

三田町 九鬼氏の舊城下にして大阪より九里廿餘丁繁華なる市街なり

一里半にして花山院御廟へ詣で得べし。廣野等諸驛を過ぎ丹波の古市驛に至る、此より西國廿五番清水觀音へ二里、城山稻荷へ四十五丁なり。

次は篠山驛なり。兵庫縣下丹波多紀郡、松平氏の舊藩地なり。春日神社等名勝

多し。柏原等諸驛を経て福知山に着す

福知山 京都府下丹波大田郡、篠山より八里卅二町、音無瀬川の西岸に在り、朽木氏の舊城下にして兵營あり、古來山陰の要鎮たり。天橋

立、由良の港等へ車馬の便あり

天ノ橋立 日本三景の一、宮津町(丹後)の北に在り、沙洲一帯宮津灣に斗出すること二十七町餘、幅三十二間青松生茂り遠く望めば長橋の觀あり

次に神崎驛へ歸りて官線路に於ける案内すべし

神崎町 停車場より東北十町、神崎川の西岸に在り、海陸の便よし。

南一里許に

尼崎町 在り、櫻井氏の舊藩地にして城跡存す。人口多く市街賑はし

西ノ宮町 西ノ宮驛所在地、酒造家多く繁昌す。市の北方に甲山聳ゆ

其西に武庫山あり。停車場より八丁許に
大國主西神社 あり、西ノ宮我とて弘く世に知らる。大日貴命を祀る

十日我には夥しき參詣者あり

廣田神社 官幣大社天照大神を祀る。停車場の北十二丁に在り

打出の濱 町より五六丁の海濱をいひ神功皇后皇子御降臨の舊蹟なり

住吉神社 住吉驛近傍、底筒命、男筒命を祀る。神功皇后の勸請に

係る

御影町 住吉の南五六丁、清酒、花崗石を以て名高し。住吉の東北半

里許に

岡本梅林 あり、山麓より半腹まで悉く梅樹なり山頂眺望よし

三の宮驛 元町の東端、神戸への來往此驛よりする多し附近に

生田神社 は生田森に在り、官幣小社稚日女尊を祀る源平の古戰場也

布引瀧 布引山に在り、上下二瀑あり上を雄瀧、下を雌瀧といふ景色

よし

神戸市 南に神戸港を擁し北に丘陵を負ひ湊川其中を流る。貿易港と

しては横濱に顔顔し繁盛の狀紙上に盡し難し。神戸驛は東川崎町に在り

て山陽鐵道に聯絡し馬關に至る

諏訪山 山手通の北に在る丘陵なり温泉あり常盤等旅舎料亭あり

湊川神社 神戸驛北二丁、別格官幣社楠公を祀る正門を入りて右に有

名なる「嗚呼忠臣楠子之墓」あり。市内最も繁華の場所なり。因に第一

等の市街は元町にして之に次ぐものを多門通、榮町通、海岸通とす。

元居留地 榮町元町の東端より東生田川に至る洋館巍々として街衢井

然たり

福原 楠公社の西數丁游廓なり。舊は福原都趾なりといふ

摩耶山 市の北東に亘る連山の一なり、山頂有名なる

天上寺 あり大化年間草創、避暑に適せる地なり

兵庫 市の一部にして淡川以西和田の崎以東を云ふ、舊稱なり。

以下山陽鐵道線路の案内すべし

兵庫驛 は山陽鐵道會社本社の所在地にして清盛塔、官幣小社長田神

社等見物を値す。鷹取驛の次、須磨驛に名所多し

須磨 東西須磨村の總稱、水清く氣爽かに最も療養に適す、五六町東

に須磨寺あり敦盛、熊谷等の遺物いと多し。松風村雨の墓東須磨の西北

に在り

一の谷 須磨より三町許西、鐵拐ヶ峯は二の谷の奥に互る山なり。三

の谷の西街道の右に敦盛塚あり大五輪の石塔なり。搦屋、垂水兩驛を經

て舞子驛に達す

舞子ノ濱 東西六七町南北二三町の松林にして老松蟠屈舞ふが如く眠

るが如し海峽を隔て、淡路に對し眺望絶佳なり、龜屋等旅館多し

明石町 松平氏の舊藩地なり、城址は驛の西北四町今公園地たり。城

東に

人丸神社 あり、歌聖柿本人丸を祀る、明石浦の眺望よろし

天郷、金崎の梅林 大久保驛の北二十五町に天郷、西十五町に金ヶ崎

梅林あり

尾上神社 加古川驛より南三十餘町、古鐘あり。社背に尾上ノ松林あり

り、相生ノ松境内に在り。東一里餘手枕ノ松あり高砂ノ松は尾上を距る

入町許なる

高砂神社 内に在り、西北一里餘曾根天神ありその曾根ノ松名あり

日岡神社 加古川驛の北三十町許に在り五瀬命を祀る。南十町の

刀田山鶴林寺 是草創以來千七百年に近き建物にして眞に名刹なり

石寶殿 寶殿驛の西十五町生石村の山腹、一大石屋社の形をなせるが

横たはれるなり周圍水溜をなし一見浮めるが如し、南に觀瀾處あり

高御位山 全山皆石一の門、二の門御座石など稱する太古の遺跡存す

(阿彌陀驛の北一里餘)

姫路市 酒井氏の舊城下にして神戸より十五里あり。城は白鷺城と稱

し名城なり秀吉の築く所にして今第十師團を置く。當驛より凡三十町の

白國の梅林 は白國村の山腹に在り。村の奥の

増位山隨願寺 は聖德太子の開基なる名刹なり本徳寺また名あり

書寫山 姫路の西北二里許、山上杉多し。山嶺の圓教寺は西國巡禮第

二十七番の札所なり。名山にして山中名所多し

播但鐵道(新井生野飾磨間) 姫路より野里、香呂、福崎、鶴居、生

野等諸驛を経て新井驛、姫路豆腐町驛より兩驛を経て飾磨驛に至る

生野銀山 鑛坑縱横にありて銀、銅、鉛を採掘し毎年十五萬貫以上

の銀を出す。生野町に御料局支廳あり

城崎温泉 新井驛より五里許、温泉は鹽類泉無色透明にして六所よ

り涌出す、また湯島の温泉とも呼ぶ、遠近より湯治の客多し

飾磨町 姫路の南一里餘、飾磨津は名所にて古歌多し。姫路驛の次

綱干 の北三町に朝日山觀世音あり。十八町北の

班鳩山班鳩寺 は太子堂、昭堂、彌勒堂、山王社等壯麗なる建物あり

宇須幾津八幡宮 は驛の南十八町、松林中に在る大社なり。次は龍野

龍野町 は揖保川の西、驛の北一里十町、有名なる醬油の産地なり

室津 驛の南二里、三方丘を負へる海灣にして水深さ良港なり。次の

那波驛の南二里なる坂越港は室津に次ぐ良港にして風景絶佳なり。阪越

の西南一里なる
赤穂町 は四十七義士を以て著くまた製鹽に名あり。華岳寺は淺野家の菩提所にして義士の遺蹟あり。有年驛の北二里に白旗山古城趾あり。上郡を過ぎて備前に入る

岡山縣 備前一市八郡、備中十一郡 美作十二郡

三石驛 鱒石を産す、東十町に船阪山、十二町と深谷の瀧あり
關谷驛 は吉永驛の南三十町。備前燒は和氣郡伊部の特産なり。和氣驛の北七里中國著名の温泉なる
鷺の湯 は美作國勝田郡湯の郷村に在り。泉質鹽類性無色透明皮膚病子宮病等に効驗あり、浴舎壯大土地清麗なり

金毘羅山西大寺 瀬戸驛の南二里半、有名なる巨刹なり。長岡驛を経て岡山驛に着す

岡山市 中國第二の都會にして旭川の西岸に在る池田氏の舊城下なり。城は天守閣を存す。本邦三公園の一ある
後樂園 は市外五六町に在り、面積三萬二千餘坪竹を植て牆に代へ門を四方に設く池あり丘あり其幽邃にして風致に當める比濤鮮し
宗忠神社 驛の西南一里、黒住教の本社にして社殿莊嚴なり

中國鐵道(岡山市津山間) 岡山市(市の西北)、金川(不受不施派の本山妙覺等へ二町許)、福波、誕生寺(圓光大師の誕生せし所)、諸驛を経て津山に達す

津山町 岡山市より十四里三十四町、津山川の北岸に在り、松平氏

の舊城下にして美作第一の都會なり。城趾に五層の天守閣あり。津山より一里

院の庄 是後醍醐帝隱岐遷幸の時兒島高德が櫻樹に詩句を留めたる遺蹟なり。山陽線に歸りて

岡山驛の次なる庭瀬の北一里に

吉備津神社 あり、國幣中社吉備津彦命を祀る。結構古式に則り壯嚴

を極む國寶多し。西北一里に高松稻荷あり。次は倉敷驛なり

豪溪 是賀陽郡榎谷村に在り、饜齋翁て屏風の如く奇絶快絶の奇觀也

瑜伽神社 倉敷の南四里兒島に在り、熊野權現を祀る山上眺望よし

玉島港 玉島驛の南廿七町、備中淺口郡東南の海岸に在る一要港なり

西南海上に望む高丘上に圓通寺あり巨巖起伏し風光最も美なり

玉島港より汽船に乗り讚岐の多度津に渡り

讚岐鐵道(高松琴平間) により四國の勝を尋ねんに多度津驛より下

りて金藏寺、善通寺(弘法大師誕生の屏風浦善通寺は西十町に在り四國

七十五番の札所なり) 諸驛を経て琴平に着す

琴平神社 象頭山の中腹に在り、國幣中社大物主神、崇徳帝を祀る

神殿最も壯麗にして賽人の多きこと全國其匹なし山中十二の景勝あり

多度津より丸龜(市は讚岐第二の都會なり)、宇多津(四國八十八番の道

場寺は南四町に、又東十町に聖通寺あり山上岩薬師及び柱石の不思議わ

り)坂出、鴨川(北一里半に白峯あり又松山と稱す崇徳帝陵あり)、國分

端岡、鬼無、香西諸驛を経て高松に着す

高松市 讚岐第一の都會にして香川縣廳の所在地なり。松平氏の城

趾存して風致に富む南十町に

栗林公園 あり本邦三大公園の一にして園の廣さ十六萬餘坪、土地

幽邃泉石の配置凡ならず今茲關西聯合共進會を開設せり。市の東南一里餘に屋島山あり附近源平古戰場たり。此他五劍山、志度寺等名勝に富む。因に云ふ神阪以東より琴平に參詣するには此地に上陸するを便とす

山陽線に歸りて鳴方驛より一里に大谷金神 あり金光教會の本部にして信者甚だ多し

廣島縣 安藝一市七郡 備後一市九郡

福山市(福山驛) 繁昌なる小都會なり、福山城今公園と成る。西南十六町に明王院あり、弘法大師の草創にして千餘年前の建物なり。南三里の鞆津 ば海中に斗出したる岬にして良港なり。東岸に對潮樓あり、辨天島を隔て、仙醉島と對し無數の島嶼隱見し風光絶美日東第一形勝の名

あるに負かず。鞆津の西凡一里に阿伏鬼觀音あり絶崖の上に在り燈籠絶妙の景勝を看るべし

尾道(尾道驛) 備後御調郡の東南に在る一海港にして繁華なる地なり千光寺 驛の東七町、市の後山腹に在り巨剎、千疊敷の勝地あり。西國寺(東十三町)、淨土寺(東廿町)と共に尾の道三大寺と稱せらる。系崎に系崎八幡宮、多久良能火の名勝あり

三原驛 城趾あり、西野梅林へ西十六町。本郷驛 南廿五町の米山寺は土肥實平より小早川隆景まで十七代の墳墓あり。河内、白市等諸驛を経て廣島驛に着す 廣島市 山陽第一の都會にして大阪を距ること凡九十里、淺野氏の舊城下にして廿七八年役には 大元帥陛下の大本營を移し賜ひし所なり。市の中央に廣島城あり第五師團を置く

宇品港 宇品港は日清戦役の大輸送地として大に世に著はれき(宇品へ行くには廣島にて乗替)吳軍港へ九海里あり。吳は明治二十年鎮守府を置かれ軍港となる江田等の諸島前に横たはる、江田島に海軍兵學校あり

嚴島 嚴島の西南に方り、周回七里卅一町あり北の嶺を彌山と呼び南を岩船山と云ひ俗に宮島と稱す。嚴島神社は國幣中社市村島姫を祀る殿閣海に面し大小の屋宇廊廡基礎を江中に建て曲折相連り潮來れば宛然浮べるが如く江山樓閣相掩映し眞に一大美觀にして日本三景の一たるに背かず。こゝに遊ばんとせば宮島驛より下車し發着毎に接續する漁船に乗るべし

近府縣名勝案内終

2/3/41

明治三十五年六月廿五日發行

(定價 卅五錢)

發行所 大阪府西區新町北通壹丁目二百卅五番 鳴戸源之助

印刷者 大阪府西區新町北通壹丁目二百卅一番 武野淺吉

印刷所 大阪府西區新町北通壹丁目二百卅五番 鳴玉館

發兌元 大阪府東區備后町四丁目 吉岡平助

持約大賣捌

大阪市東區心齋橋筋博勞町 丸善書店 電話特東四百二十九番

京都市三條通富小路角 中村便利堂 電話千四百二十番

神戸市元町壹丁目 日進堂

全市元町四丁目 東水了軒



其他各書肆

宇品港 宇品港は日清戦役の大輸送地として大に世に著はれき(宇品へ行くには廣島にて乗替)吳軍港へ九海里あり。吳は明治二十年鎮守府を置かれ軍港となる江田等の諸島前に横たはる、江田島に海軍兵學校あり

嚴島 嚴島は廣島の西南に方り、周回七里卅一町あり北の嶺を彌山と呼び南を岩船山と云ひ俗に宮島と稱す。嚴島神社は國幣中社市杵島姫を祀る殿閣海に面し大小の屋宇廊廡基礎を江中に建て曲折相連り潮來れば宛然浮べるが如く江山樓閣相掩映し眞に一大美觀にして日本三景の一たるに背かず。こゝに遊ばんとせば宮島驛より下車し發着毎に接續する汽船に乘るべし

2/3/41

近府縣各勝案内終

明治三十五年六月廿五日印刷

(定價拾五錢)

發行所 鳴戸源之助
 發行所 武野淺吉
 發行所 鳴玉
 發行所 鳴玉
 發行所 鳴玉

複製 不許

持約大賣捌

其他各書肆

大阪市東區備后町四丁目 吉岡 電話特東四百二十九番

大阪市東區心齋橋筋博勞町 丸善 電話二百五十八番

京都市三條通富小路角 中村 便利堂 電話千四百二十番

神戸市元町壹丁目 日進堂

川元町四丁目 東水了軒

全日停車場

94
50

清酒國益正宗



賣捌元
大阪東區土町四丁目
祭原洋酒店
電話東三九三番

寫真製版及印刷廣告

一 本館ハ關西ニ於ケル新業ノ創始者ニシテ唯一ノ寫真製版印刷所ナリ
 一 寫真銅版ハ其成功期ヲ迅速ナルト活字其他ノ諸版ト共ニ印刷シ得ラル、ノ便利アルガ故ニ應用區
 域ノ特ニ擴大ナルモナリ
 一 寫真銅版及コロタイプ(硝子版)ハ肖像、景色、書籍、器物、機械、建築物等萬般ノ原圖ヲ新開、
 雜誌、書籍等ノ挿圖トシテ其他畫帖、名刺、商標、株券、引札、切手、商品見本等ノ印刷物又ハ應
 用物トシテ尤モ適當ナルモノナリ
 一 寫真製版ハ凡ソ有形ノ物ニシテ寫真ニ撮影シ得ラル、物ハ如何ナル物ニテモ原形ニ寸分ノ相違ナ
 ク製版スル事ヲ得而シテ原圖ヲ大小伸縮スルコトハ自在ナリ
 一 寫真銅版ハ磨滅腐蝕ノ患ナキナリ以テ一個ノ製版アレバ優ニ十數萬枚以上ヲ印刷スルコトヲ得ベシ依
 テ印刷枚數ノ多キニ從ヒ製版代價ハ算ス可カラサルノ少額トナル而シテ印刷費用ハ至テ低廉ナリ
 一 寫真製版印刷ハ自然ニ濃淡ノ配色ヲ有シテ美麗鮮明ナルバ彩色ノ手數ヲ省クヲ得且ツ萬世變色ノ
 患ナシ
 一 寫真製版ハ色刷又ハ彩色刷ヲモ爲スコトヲ得
 一 本館ハ寫真製版印刷ノ外ニ一般印刷業ニ關スル總テノ機關ヲ完備シ居レリ
 一 右寫真製版及諸印刷共鮮明美麗ヲ主トシ日限ハ確實迅速ニ價格ハ充分低廉ニ相働キ極メテ實用的
 一 三精々御便利ヲ相圖リ可申候間御愛顧御引立之程希上候

寫真銅版調製及印刷
 寫真版コロタイプ印刷
 其他各種印刷業
 諸官衙銀行會社御用達

關西唯一寫真製版所

玉

鳴

館

大阪市西區新町北通二丁目

電話西千七百七十番

國 國 國 國

國 國 國 國

國 國 國 國

國 國 國 國

國 國 國 國

國 國 國 國

國 國 國 國

國 國 國 國

國 國 國 國

國 國 國 國

國 國 國 國

登錄商標



本店

大阪府

藤井竹次郎

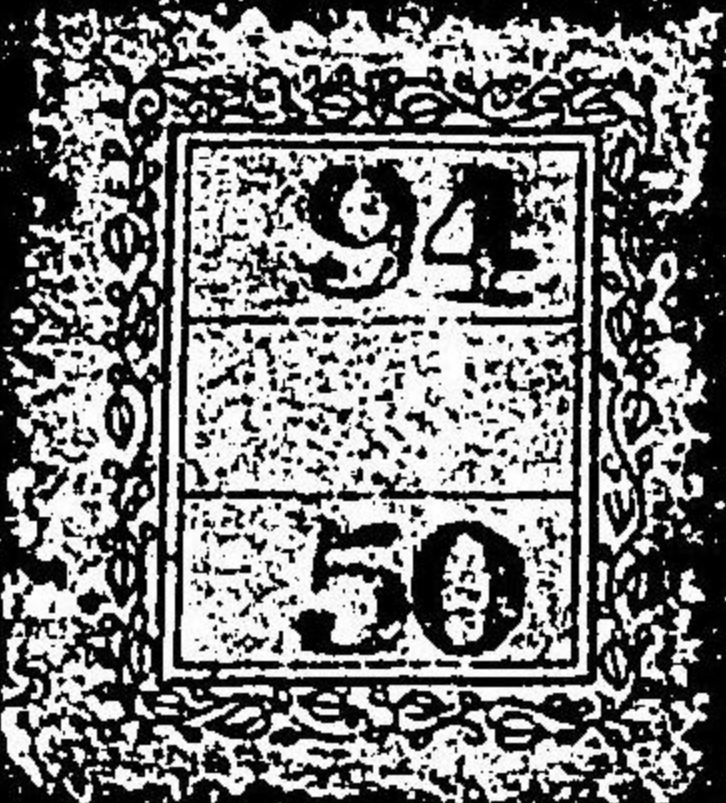
電話

西一五二九番

支店 東區今橋四丁目
電話三八九七番

94
50





025200-000-5

94-50

大阪名勝案内—附近府県名勝—

鳴戸 源之助 / 編

図版

M35

ADC-2594

